様式１（主な取組）

# 「主な取組」検証票

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 施策展開 | 4-(2)-イ | 多文化共生社会の構築 | 施　策 | ①在住外国人等が住みやすい地域づくり |
| | | | 施策の小項目名 | ○在住外国人等への情報発信、地域社会参画への支援、相談対応等 |
| 主な取組 | 在住外国人の生活支援 | | 対応する成果指標 | 在留外国人数 |
| 施策の方向 | ・地域社会や公益財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団等と連携し、多言語や‘やさしい日本語’による情報発信、在住外国人の地域社会参画への支援、沖縄での生活に関する各種相談の実施のほか、災害時に備えた外国人支援サポーターの育成など、イチャリバチョーデーやユイマールの精神で、外国人が安心して生活及び滞在ができる環境づくりに取り組みます。 | | | |

## 1　取組の概要（Plan）

| 主な取組（アクティビティ） | 実施主体 | 年度別計画 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 活動指標（アウトプット） | | |
| | | R4 | R5 | R6 |
| 外国人が地域住民として直面する諸問題に関し、専門的な助言、相談ができる窓口を設置し、多言語による生活・法律相談を実施。 | 沖縄県国際交流・人材育成財団 | 外国人が地域住民として直面する諸問題に関し、専門的な助言、相談ができる窓口を設置し、多言語による生活・法律相談を実施 | | |
| | | 法律・生活相談対応件数（累計） | | |
| | | 70件 | 70件（140件） | 70件（210件） |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 担当部課【連絡先】 | 文化観光スポーツ部交流推進課　【　098-866-2479　】 | 関連URL | ― |

様式１（主な取組）

## 2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

| 予算事業名 | 沖縄県国際交流・協力推進事業費補助金 | | |
|---|---|---|---|
| 主な財源 | 実施方法 | R5年度<br>決算額 | R6年度<br>決算見込額 |
| 県単等 | 補助 | 18,856 | 17,932 |

| 予算事業名 | 沖縄県国際交流・協力推進事業費補助金 | |
|---|---|---|
| R7年度 | | |
| 主な財源 | 実施方法 | 当初予算額 |
| 県単等 | 補助 | 18,683 |

| 令和6年度活動内容 | 令和7年度活動計画 |
|---|---|
| 多言語による生活・法律相談を実施した。 | 多言語による生活・法律相談を実施する。 |

| 活動指標名 | 法律・生活相談対応件数（累計） | | R6年度 | | | 進捗状況 | 活動概要 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 実績値 | R4年度 | R5年度 | 実績値(A) | 目標値(B) | 達成割合<br>A/B | | 県内に在留している外国人が生活面等にて相談するための窓口を設置し、その対応を行う。 |
| | 220件 | 328件（548件） | 326件(874件) | 70件（210件） | 100.0% | 順調 | |

**進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果**

在留外国人の増加により、相談件数も増加傾向にあるが適切に対応できた。

（２）これまでの改善案の反映状況

| 令和6年度の取組改善案 | 反映状況 |
|---|---|
| ○外国人相談窓口における対応事案を集計し、ニーズの把握に努める。 | 外国人相談窓口における対応事案を集計し、ニーズを把握することで、各種施策の効果的な展開につながった。 |

様式１（主な取組）

| ３　取組の検証（Check） | |
|---|---|
| 類型 | 内容 |
| ② 他の実施主体の状況（内部要因） | 在住外国人への相談対応結果から、在住外国人の方がどういった生活上の困りごとを抱えているかといった分析が十分でなかった。 |
| | |
| | |
| | |

| ４　取組の改善案（Action） | |
|---|---|
| 類型 | 内容 |
| ② 連携の強化・改善 | 引き続き県内に在留している外国人の生活面等に対する相談対応を行うとともに、そのニーズを把握し各種施策へ反映させていく。 |
| | |
| | |
| | |

様式１（主な取組）

# 「主な取組」検証票

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 施策展開 | 4-(2)-イ | 多文化共生社会の構築 | 施　策 | ①在住外国人等が住みやすい地域づくり |
| | | | 施策の小項目名 | ○在住外国人等への情報発信、地域社会参画への支援、相談対応等 |
| 主な取組 | リーガル・ライフサポーターの養成 | | 対応する成果指標 | 在留外国人数 |
| 施策の方向 | ・地域社会や公益財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団等と連携し、多言語や‘やさしい日本語’による情報発信、在住外国人の地域社会参画への支援、沖縄での生活に関する各種相談の実施のほか、災害時に備えた外国人支援サポーターの育成など、イチャリバチョーデーやユイマールの精神で、外国人が安心して生活及び滞在ができる環境づくりに取り組みます。 | | | |

## 1　取組の概要（Plan）

| 主な取組（アクティビティ） | 実施主体 | 年度別計画 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 活動指標（アウトプット） | | |
| | | R4 | R5 | R6 |
| 外国人から寄せられる多岐にわたる相談に対して、専門的な「通訳者」として支援対応することができる「リーガル・ライフサポーター」の育成 | 沖縄県国際交流・人材育成財団 | 外国人から寄せられる多岐にわたる相談に対して、専門的な「通訳者」として支援対応することができる「リーガル・ライフサポーター」の育成 | | |
| | | リーガル・ライフサポーター養成講座の修了登録者数（累計） | | |
| | | 10名 | 10名（20名） | 10名（30名） |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 担当部課【連絡先】 | 文化観光スポーツ部交流推進課　【　098-866-2479　】 | 関連URL | ― |

様式１（主な取組）

## 2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

| 予算事業名 | 沖縄県国際交流・協力推進事業費補助金 | | |
|---|---|---|---|
| 主な財源 | 実施方法 | R5年度<br>決算額 | R6年度<br>決算見込額 |
| 県単等 | 補助 | 18,856 | 17,932 |

| 予算事業名 | 沖縄県国際交流・協力推進事業費補助金 | |
|---|---|---|
| R7年度 | | |
| 主な財源 | 実施方法 | 当初予算額 |
| 県単等 | 補助 | 18,683 |

**令和6年度活動内容**

リーガル・ライフサポーター養成講座を開催した。
リーガル・ライフサポーター認定テストを実施した。

**令和7年度活動計画**

リーガル・ライフサポーターのスキルアップセミナーを開催する。

| 活動指標名 | リーガル・ライフサポーター養成講座の修了登録者数（累計） | | R6年度 | | | 進捗状況 | 活動概要 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 実績値 | R4年度 | R5年度 | 実績値(A) | 目標値(B) | 達成割合<br>A/B | | |
| | 8名 | 30名（38名） | 14名（52名） | 10名（30名） | 100.0% | 順調 | リーガル・ライフサポーター養成講座の修了登録者が一定数に達したことから、修了登録者の更なる質の向上を目指し、スキルアップセミナーを開催した。 |

様式１（主な取組）

| 進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果 | |
|---|---|
| 既にリーガル・ライフサポーター養成講座を受講済みの方のうち、10名以上の受講を目標にスキルアップセミナーを開催したが、目標数を上回る受講者数となった。リーガル・ライフサポーターの質が向上することで、外国人の方の困りごとに対応する能力が向上し、外国人の安心・安全な生活環境の構築につながっている。 | |
| （２）これまでの改善案の反映状況 | |
| 令和6年度の取組改善案 | 反映状況 |
| ○外国人相談窓口における対応事案を集計し、ニーズの把握に努める。 | ○外国人相談窓口における対応事案を集計することでニーズを把握し、ニーズの高い分野を重点的にセミナー内容へ反映させた。 |

| 3　取組の検証（Check） | |
|---|---|
| 類型 | 内容 |
| ② 他の実施主体の状況（内部要因） | 外国人相談窓口でのニーズの把握を踏まえて、従来の育成セミナーではなく、スキルアップセミナーを開催したことで、リーガル・ライフサポーターの更なる質の向上に効果的であることが分かった。 |
| | |
| | |
| | |

| 4　取組の改善案（Action） | |
|---|---|
| 類型 | 内容 |
| ① 執行体制の改善 | 在留外国人が安心して生活を送ることができるよう、引き続きスキルアップセミナーを開催し、過去に養成した全てのリーガル・ライフサポーターの質の向上を目指す。 |
| | |
| | |
| | |

様式１（主な取組）

# 「主な取組」検証票

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 施策展開 | 4-(2)-イ | 多文化共生社会の構築 | 施　策 | ①在住外国人等が住みやすい地域づくり |
| | | | 施策の小項目名 | ○在住外国人等への情報発信、地域社会参画への支援、相談対応等 |
| 主な取組 | 災害時外国人支援サポーターの養成 | | 対応する成果指標 | 在留外国人数 |
| 施策の方向 | ・地域社会や公益財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団等と連携し、多言語や‘やさしい日本語’による情報発信、在住外国人の地域社会参画への支援、沖縄での生活に関する各種相談の実施のほか、災害時に備えた外国人支援サポーターの育成など、イチャリバチョーデーやユイマールの精神で、外国人が安心して生活及び滞在ができる環境づくりに取り組みます。 | | | |

## 1　取組の概要（Plan）

| 主な取組（アクティビティ） | 実施主体 | 年度別計画 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 活動指標（アウトプット） | | |
| | | R4 | R5 | R6 |
| 防災・減災に対する意識を高め、島嶼県である沖縄の地域防災力の向上を目指し、災害時に外国人に寄り添うことができる人材を育成 | 沖縄県国際交流・人材育成財団 | 防災・減災に対する意識を高め、島嶼県である沖縄の地域防災力の向上を目指し、災害時に外国人に寄り添うことができる人材を育成 | | |
| | | 災害時外国人支援サポーター養成講座の修了登録者数（累計） | | |
| | | 30名 | 30名（60名） | 30名（90名） |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 担当部課【連絡先】 | 文化観光スポーツ部交流推進課　【　098-866-2479　】 | 関連URL | ― |

様式１（主な取組）

## 2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

| 予算事業名 | 沖縄県国際交流・協力推進事業費補助金 | | |
|---|---|---|---|
| 主な財源 | 実施方法 | R5年度<br>決算額 | R6年度<br>決算見込額 |
| 県単等 | 補助 | 18,856 | 21,127 |

| 予算事業名 | 沖縄県国際交流・協力推進事業費補助金 | |
|---|---|---|
| R7年度 | | |
| 主な財源 | 実施方法 | 当初予算額 |
| 県単等 | 補助 | 18,683 |

| 令和6年度活動内容 | 令和7年度活動計画 |
|---|---|
| 災害時外国人支援サポーター養成講座を開催した。 | 災害時外国人支援サポーター養成講座を開催する。 |

| 活動指標名 | 災害時外国人支援サポーター養成講座の修了登録者数（累計） | | R6年度 | | | 進捗状況 | 活動概要 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 実績値 | R4年度 | R5年度 | 実績値(A) | 目標値(B) | 達成割合<br>A/B | | 災害時おける外国人の適切な避難等が行えるよう支援サポーターの養成講座を開催した。 |
| | 43名 | 30名（73名） | 5名（78名） | 30名（90名） | 16.7% | 大幅遅れ | |

様式１（主な取組）

| 進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果 | |
|---|---|
| 申込者の減少により、修了登録者数が目標値よりも減少した。 | |
| （２）これまでの改善案の反映状況 | |
| 令和6年度の取組改善案 | 反映状況 |
| ○災害時外国人支援サポータースキルアップウェビナー、災害時に役立つ「やさしい日本語」ウェビナー、避難所運営訓練・避難所体験会、災害危機管理ウェビナー等の開催により県民の防災意識の啓発に努める。 | ○災害時外国人支援サポータースキルアップウェビナー、災害時に役立つ「やさしい日本語」ウェビナー、避難所運営訓練・避難所体験会、災害危機管理ウェビナー等を開催したことで、災害時における外国人の円滑な避難体制の構築につながった。 |

**３　取組の検証（Check）**

| 類型 | 内容 |
|---|---|
| ② 他の実施主体の状況（内部要因） | 災害時に外国人に寄り添うことができる人材の育成に向け、県民の防災意識の啓発するため、更なる受講申し込み者の増加を目的とした周知を行う必要がある。 |
| | |
| | |
| | |

**４　取組の改善案（Action）**

| 類型 | 内容 |
|---|---|
| ① 執行体制の改善 | 新たな周知媒体を活用する等して講座受講者申込者の増加を目指す。 |
| | |
| | |
| | |

様式１（主な取組）

# 「主な取組」検証票

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 施策展開 | 4-(2)-イ | 多文化共生社会の構築 | 施 策 | ②県民の異文化理解・国際理解の促進 |
| | | | 施策の小項目名 | ○お互いの文化や習慣を理解し合うための環境づくり |
| 主な取組 | 多文化共生社会に向けた県民向けの取組 | | 対応する成果指標 | おきなわ国際協力・交流フェスティバルの参加者数（特設ホームページへのアクセス数） |
| 施策の方向 | ・市町村や関係団体と連携した県民向けのシンポジウムの開催、JICA沖縄主催のおきなわ国際協力・交流フェスティバルへの参画、県民の文化・教育の交流等を通して、お互いの文化や習慣を理解し合うための環境づくりに取り組みます。 | | | |

## 1　取組の概要（Plan）

| 主な取組（アクティビティ） | 実施主体 | 年度別計画 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 活動指標（アウトプット） | | |
| | | R4 | R5 | R6 |
| 多文化共生社会の普及・啓発を図るため、市町村行政担当者や市民を対象としたシンポジウム・ワークショップ等を実施 | 県 | 多文化共生社会の普及・啓発を図るため、市町村行政担当者や市民を対象としたシンポジウム・ワークショップ等を実施 | | |
| | | シンポジウム・ワークショップ等の開催数（累計） | | |
| | | 2回 | 2回（4回） | 2回（6回） |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 担当部課【連絡先】 | 文化観光スポーツ部交流推進課　【　098-866-2479　】 | 関連URL | https://www.pref.okinawa.jp/bunkakoryu/koryu/1023165/1034046.html |

## ２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

| 予算事業名 | 多文化共生推進調査事業 | | |
|---|---|---|---|
| 主な財源 | 実施方法 | R5年度<br>決算額 | R6年度<br>決算見込額 |
| 県単等 | 委託 | 6,397 | 6,185 |

| 予算事業名 | 沖縄県国際交流・協力推進事業費補助金 | |
|---|---|---|
| R7年度 | | |
| 主な財源 | 実施方法 | 当初予算額 |
| 県単等 | 委託 | 5,454 |

**令和6年度活動内容**

沖縄県民および県内在住外国人がお互いに安心して生活できる環境づくりを行うため、万国津梁会議を開催し、多文化共生社会の地域づくりを推進した。

**令和7年度活動計画**

アクションプランを作成し、多文化共生社会の地域づくりを推進する。

| 活動指標名 | シンポジウム・ワークショップ等の開催数（累計） | | R6年度 | | | 進捗状況 | 活動概要 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 実績値 | R4年度 | R5年度 | 実績値(A) | 目標値(B) | 達成割合<br>A/B | | 万国津梁会議を開催し、沖縄県の多文化共生社会における課題等の提言を受けた。 |
| | 2回 | 2回（４回） | 4回（８回） | ２回（６回） | 100.0% | 順調 | |

**進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果**

年２回開催の目標値を達成することができた。万国津梁会議の開催を通して、沖縄県民および県内在住外国人がお互いに安心して生活できる環境づくりを行うため、沖縄県において解消すべき課題等を明確にすることができた。

（２）これまでの改善案の反映状況

| 令和6年度の取組改善案 | 反映状況 |
|---|---|
| ○　県内在住外国人が安心して生活できる環境づくりを行うため、引き続き市町村や関係団体と連携した多文化共生社会の地域づくりを推進する。 | ○　万国津梁会議を4回開催し、関係団体からの意見を共有、議論するとともに、多文化共生社会の地域づくりを推進するための課題を洗い出した。 |

様式１（主な取組）

| ３　取組の検証（Check） | |
|---|---|
| 類型 | 内容 |
| ⑦ その他(改善余地の検証等) | 万国津梁会議において判明した多文化共生社会を推進するための課題に対し、適切に対応するための計画が必要となっている。 |
| | |
| | |
| | |

| ４　取組の改善案（Action） | |
|---|---|
| 類型 | 内容 |
| ⑥ 変化に対応した取組の改善 | 万国津梁会議において受けた提言内容の検証を進め、全庁横断的に課題解決のための効果的なアクションプランを策定する。 |
| | |
| | |
| | |

様式１（主な取組）

# 「主な取組」検証票

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 施策展開 | 4-(2)-イ | 多文化共生社会の構築 | 施　策 | ②県民の異文化理解・国際理解の促進 |
| | | | 施策の小項目名 | ○お互いの文化や習慣を理解し合うための環境づくり |
| 主な取組 | おきなわ国際協力・交流フェスティバルとの連携 | | 対応する成果指標 | おきなわ国際協力・交流フェスティバルの参加者数（特設ホームページへのアクセス数） |
| 施策の方向 | ・市町村や関係団体と連携した県民向けのシンポジウムの開催、JICA沖縄主催のおきなわ国際協力・交流フェスティバルへの参画、県民の文化・教育の交流等を通して、お互いの文化や習慣を理解し合うための環境づくりに取り組みます。 | | | |

## 1　取組の概要（Plan）

| 主な取組（アクティビティ） | 実施主体 | 年度別計画 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 活動指標（アウトプット） | | |
| | | R4 | R5 | R6 |
| JICAおきなわ国際協力・交流フェスティバルへのブース展示、県事業紹介。 | 県,市町村,JICA沖縄,沖縄県国際交流・人材育成財団 | JICA沖縄及び関係団体と連携した、フェスティバルへの参加、広報等への協力 | | |
| | | フェスティバルの共催承認、イベント等への参加 | | |
| | | 実施 | 実施 | 実施 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 担当部課【連絡先】 | 文化観光スポーツ部交流推進課　【　098-866-2479　】 | 関連URL | ― |

## 2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

| 予算事業名 | - | | | |
|---|---|---|---|---|
| 主な財源 | 実施方法 | R5年度<br>決算額 | R6年度<br>決算見込額 | |
| ― | ― | | | |

| 予算事業名 | - | | |
|---|---|---|---|
| R7年度 | | | |
| 主な財源 | 実施方法 | 当初予算額 | |
| ― | ― | | |

**令和6年度活動内容**

フェスティバルへの県の共催を実施し、ポスター設置等による各種広報を行った。開催が11月下旬の予定のため、９月を目処に広報計画を立て実施した。

**令和7年度活動計画**

フェスティバルへの県の共催の実施及びポスター設置等による各種広報を行う。また、県事業のOBOGを活用した広報にも取り組む。

| 活動指標名 | フェスティバルの共催承認、イベント等への参加 | | R6年度 | | | 進捗状況 | 活動概要 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 実績値 | R4年度 | R5年度 | 実績値(A) | 目標値(B) | 達成割合<br>A/B | | ＪＩＣＡおきなわ国際協力フェスティバルで、沖縄県交流推進課の行う交流事業のＰＲを行った。 |
| | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 | 100.0% | 順調 | |

**進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果**

国際交流員による出身国紹介ブース、ウチナージュニアスタディー事業及びおきなわ国際協力人材育成事業の紹介ブース、県費留学生によるクイズのコーナーを設け、県が行う交流事業を広く参加者に周知した。

（２）これまでの改善案の反映状況

| 令和6年度の取組改善案 | 反映状況 |
|---|---|
| JICA沖縄との更なる連携による広報手法・時期等の検証、実施を進めていく。広報メッセージについても来場者から特に関心の高かったイベントを大きく取り上げる等工夫していく。 | 来場者から特に関心のあった県費留学生の自国紹介クイズを引き続き開催した。クイズの正解者に対してノベルティを配布することで、さらなる集客につながった。 |

様式１（主な取組）

| ３　取組の検証（Check） | |
|---|---|
| 類型 | 内容 |
| ⑦ その他（改善余地の検証等） | 県費留学生以外のブースでも好評を得られるような創意工夫が必要である。 |
| | |
| | |
| | |

| ４　取組の改善案（Action） | |
|---|---|
| 類型 | 内容 |
| ④ 創意工夫による取組の改善（合理化・効率化） | 県費留学生以外のブースでも集客を集めるため、来場者参加型の取り組み等を行う。 |
| | |
| | |
| | |

様式１（主な取組）

# 「主な取組」検証票

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 施策展開 | 4-(2)-イ | 多文化共生社会の構築 | 施　策 | ②県民の異文化理解・国際理解の促進 |
| | | | 施策の小項目名 | ○お互いの文化や習慣を理解し合うための環境づくり |
| 主な取組 | 国際交流員による異文化理解促進 | | 対応する成果指標 | おきなわ国際協力・交流フェスティバルの参加者数（特設ホームページへのアクセス数） |
| 施策の方向 | ・市町村や関係団体と連携した県民向けのシンポジウムの開催、JICA沖縄主催のおきなわ国際協力・交流フェスティバルへの参画、県民の文化・教育の交流等を通して、お互いの文化や習慣を理解し合うための環境づくりに取り組みます。 | | | |

## 1　取組の概要（Plan）

| 主な取組（アクティビティ） | 実施主体 | 年度別計画 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 活動指標（アウトプット） | | |
| | | R4 | R5 | R6 |
| 外国の文化や習慣の理解促進を目的として、県内小・中・高校へ国際交流員を派遣し、異文化の紹介を行う出前授業・出前講座等を実施する。 | 県,自治体国際化協会沖縄県支部 | 県内小・中・高校へ国際交流員を派遣し、異文化の紹介を行う出前授業・出前講座等の実施 | | |
| | | 学校訪問の実施回数（累計） | | |
| | | 10回 | 10回（20回） | 10回（30回） |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 担当部課【連絡先】 | 文化観光スポーツ部交流推進課　【　098-866-2479　】 | 関連URL | https://www.pref.okinawa.jp/bunkakoryu/koryu/1009802/1009850/index.html |

## 2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

| 予算事業名 | 外国青年招致事業 | | |
|---|---|---|---|
| 主な財源 | 実施方法 | R5年度<br>決算額 | R6年度<br>決算見込額 |
| 県単等 | 直接実施 | 45,423 | 47,423 |

| 予算事業名 | 外国青年招致事業費 | |
|---|---|---|
| R7年度 | | |
| 主な財源 | 実施方法 | 当初予算額 |
| 県単等 | 直接実施 | 52,734 |

**令和6年度活動内容**

令和６年度も引き続き、県内学校からの派遣要請等に応じ、国際交流員による出前授業を行った。

**令和7年度活動計画**

県内学校からの派遣要請等に応じた国際交流員派遣に加え、県立図書館が実施する事業と連携して離島・僻地等での絵本読み聞かせ等も実施する。

| 活動指標名 | 学校訪問の実施回数（累計） | | R6年度 | | | 進捗状況 | 活動概要 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 実績値 | R4年度 | R5年度 | 実績値(A) | 目標値(B) | 達成割合<br>A/B | | 交流員派遣希望を募り、県内の小中高および特別支援学校にて出前授業を実施した。 |
| | 19回 | 18回（37回） | 22回（59回） | 10回（30回） | 100.0% | 順調 | |

**進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果**

目標とした10校を2倍以上上回り、外国文化の理解促進に寄与したと判断して本取組を「順調」とした。

（２）これまでの改善案の反映状況

| 令和6年度の取組改善案 | 反映状況 |
|---|---|
| ○各学校のニーズを事前に把握し、学校のニーズに合うよう出前授業を工夫する。 | 各学校が希望する言語の国際交流員を派遣できるよう配慮し、授業内容も事前に担当の先生と調整することで充実化を図った。 |

様式１（主な取組）

| ３　取組の検証（Check） | |
|---|---|
| 類型 | 内容 |
| ① 県の制度、執行体制（内部要因） | 離島、僻地など外国文化に触れる機会が比較的少ない地域への積極的な派遣が必要である。 |
| | |
| | |
| | |

| ４　取組の改善案（Action） | |
|---|---|
| 類型 | 内容 |
| ② 連携の強化・改善 | 県立図書館が離島、僻地等を対象に実施している事業に合わせて国際交流員を派遣するなど、積極的な機会創出を図る。 |
| | |
| | |
| | |

様式１（主な取組）

# 「主な取組」検証票

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 施策展開 | 4-(2)-イ | 多文化共生社会の構築 | 施　策 | ②県民の異文化理解・国際理解の促進 |
| | | | 施策の小項目名 | ○在住外国人の日本語による意見発表等を通じた異文化理解・国際理解の促進 |
| 主な取組 | 外国人による意見発表等を通じた異文化理解・国際理解の促進 | | 対応する成果指標 | おきなわ国際協力・交流フェスティバルの参加者数（特設ホームページへのアクセス数） |
| 施策の方向 | ・県内に在住する外国人に、国際交流・国際親善、日本・沖縄の社会や文化等について日本語で意見を発表する場を提供し、共生社会のあり方を互いに考え合う機会をつくり出すことにより、県民の異文化理解・国際理解の促進に取り組みます。 | | | |

## 1　取組の概要（Plan）

| 主な取組（アクティビティ） | 実施主体 | 年度別計画 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 活動指標（アウトプット） | | |
| | | R4 | R5 | R6 |
| 沖縄県国際交流･人材育成財団が主催する、日本語弁論大会での審査員、広報等への協力 | 県,沖縄県国際交流･人材育成財団 | 沖縄県国際交流･人材育成財団が主催する、日本語弁論大会での審査員、広報等への協力 | | |
| | | 日本語弁論大会の共催承認、県知事賞（賞状）の授与、審査員での参加等 | | |
| | | 実施 | 実施 | 実施 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 担当部課【連絡先】 | 文化観光スポーツ部交流推進課　【　098-866-2479　】 | 関連URL | ― |

様式１（主な取組）

## ２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

| 予算事業名 | 沖縄県国際交流・協力推進事業費補助金 | | |
|---|---|---|---|
| 主な財源 | 実施方法 | R5年度<br>決算額 | R6年度<br>決算見込額 |
| 県単等 | 補助 | 18,856 | 17,932 |

| 予算事業名 | 沖縄県国際交流・協力推進事業費補助金 | |
|---|---|---|
| R7年度 | | |
| 主な財源 | 実施方法 | 当初予算額 |
| 県単等 | 補助 | 18,683 |

| 令和6年度活動内容 | 令和7年度活動計画 |
|---|---|
| 第４１回外国人による日本語弁論大会を開催した。 | 第４２回外国人による日本語弁論大会を開催する。 |

| 活動指標名 | 日本語弁論大会の共催承認、県知事賞（賞状）の授与、審査員での参加等 | | R6年度 | | | 進捗状況 | 活動概要 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 実績値 | R4年度 | R5年度 | 実績値(A) | 目標値(B) | 達成割合<br>A/B | | 日本語弁論大会を通して、共生社会のあり方を考える機会を創出する。 |
| | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 | 100.0% | 順調 | |

様式１（主な取組）

| 進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果 | |
|---|---|
| 日本語弁論大会を通して、共生社会のあり方を考える機会を創出することができた。 | |
| （２）これまでの改善案の反映状況 | |
| 令和6年度の取組改善案 | 反映状況 |
| ○沖縄県国際交流・人材育成財団と協力しながら、今後も外国語に親しむ機会の創出に努める。 | ○沖縄県国際交流・人材育成財団と協力しながら日本語弁論大会を行った結果、外国語に親しむ機会が創出され、県民の異文化理解・国際理解の促進につながった。 |

| ３　取組の検証（Check） | |
|---|---|
| 類型 | 内容 |
| ⑦ その他（改善余地の検証等） | 共生社会のあり方を互いに考え合う機会の提供により県民の異文化理解・国際理解の促進につなげるため、多文化共生社会の在り方について持続的に検証の場を設ける必要がある。 |
| | |
| | |
| | |

| ４　取組の改善案（Action） | |
|---|---|
| 類型 | 内容 |
| ⑧ その他 | 引き続き弁論大会等を通して多文化共生社会のあり方を検証していく。 |
| | |
| | |
| | |